

こうぐち

練馬区議会議員

# 高口ようこ

## プロフィール

1980年、桜台生まれ／小竹町にて2児の子育て中／開進第三小・中、都立大泉高校、慶應義塾大学文学部卒／編集会社勤務後、フリーのライターに／地域活動を多数主宰／夫をがんで亡くし、在宅医療や介護を経験／保育士資格取得／2018年、区議補選で初当選



こどもと、  
未来のこと。

かわら版  
vol.6  
@練馬

市民の声  
ねりま

## 放射35号線で、地域が分断!?

### 700億円!? 道路にかけていいですか?

皆さんこんにちは、新人区議の高口ようこです。地域の課題をお伝えする、かわら版。今後も発行していきます!

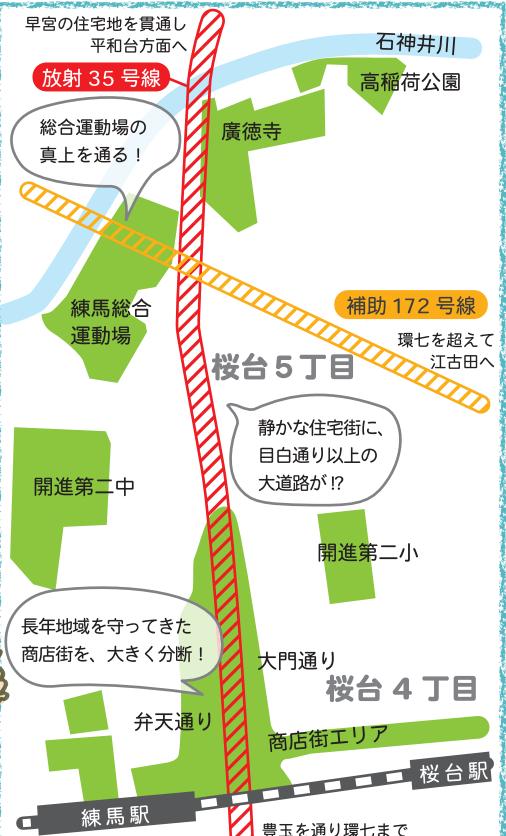
早宮に大きな影響を与えるのが、放射35号線(通称・タテ3)。最大幅42メートル、総工費は700億円以上とも推定される、超大型道路計画! 人口も交通量も減少していく時代。今ある区道だけでも、総延長1000km。それを維持・管理するだけでも大変なのに……。この道路、本当に必要!?

### 野球場も、整備を進めよう!

このタテ3と交差するのが、補助172号線。練馬総合運動場を横切る道路計画です。現在、総合運動場は整備が進んでいますが、172号線予定地を挟んだ反対側の野球場は、古いままであります。区は、172号線がどうなるかわかるまで、整備ができないとしています。しかし、172号線ができれば、総合運動場まで分断…。タテ3も172号線も中止にし、野球場もはやく整備すべきです。必要なのは、分断を生む大型道路より、地域コミュニティの豊かさ! 区議会でも、そう訴えています。

▶放射35号線は、池袋から埼玉方面へ抜ける道路。近くに千川通り、目白通りもあり、代替機能は十分のはず。

まちを壊す  
道路計画、  
見直しを!



## 子育て、教育、まちづくり、在宅医療… 区政をあなたの身边に!

### 子育てや介護の実体験を、区議会へ!

練馬区議会では、年に1回、自由なテーマで質疑できる「一般質問」の機会があります。高口は、9-10月の議会(第3定期会)で、初挑戦! 地域で実際に子育てしている実感や、夫を介護した経験から出た、生の思いをぶつけました。

ほかにも、決算特別委員会にて、小中学生のカバンの重さや、学校統廃合、障害者雇用の問題を取り上げました。

子育て中のママ議員が、  
ほとんどない区議会。  
当事者として声を届けます!



### 議会での主な提案!

#### ● 子育て支援

- ① 産後ケアが重要! 子育て応援券は、ママの心身を支えるメニューの追加&期限延長など、見直しを
- ② 一時預かり、予約しやすいシステム&枠の拡充

#### ● 教育

- ① 子ども一人ひとりを見守る、少人数教育
- ② お茶の水女子大学附属小学校の「てつがく科」などを参考に、共に考える「共同の学び」
- ③ 映画『みんなの学校』のように、誰もが同じ教室で学べるインクルーシブ教育

#### ④ 先生の働き方改革

#### ● まちづくり

- ① 大型道路より地域コミュニティを大切に
- ② 子どものあそび場を守り、増やそう!

#### ● 在宅医療と、がん対策

- ① がん患者の再就職や社会復帰の支援
- ② 家族支援を含めた、チームによる在宅医療体制

## 子どものいのちが、最優先 !!

### 区内無認可保育所の事故。問題の本質は…

東大泉の無認可保育所で、6ヶ月の男の子が亡くなる痛ましい事故が起きました。この保育所は、保育士の数など、保育の根幹にかかわる点で、毎年指導を受けていました。そのたびに改善報告を、書類で提出。しかし行政は、現地で確認もせず、翌年また指導を出す……の繰り返し。練馬区はこの保育所を、区のHPで紹介までしていたのです。

また、預けられていたお子さんの多くが、待機児童でした。認可に入れたくても入れない実態のなか……区は、このような無認可保育所が存続してきた問題について、“親の選択肢、メニュー”のためだと答えました。

私も親です。親が望むことは、選択肢やメニューより先に、何よりも、子どもの安全、いのちです。親が安心して預けられる、子どもが安全に育つ認可保育所を、区の責任として作っていくこと。それこそが今、最も必要ではないでしょうか。

## 誰もが働きやすい社会に！

### 障害者雇用、「合理的配慮」を進めよう！

国で問題になった、障害者の法定雇用率の未達成。練馬区でも、未達成が明らかに……。なかなか進まない、障害者の雇用。今、必要なことは、障害者の支援だけでなく、受け入れれる社会や企業を変えること。そのために、**一人ひとりに合った合理的配慮を進める+支援すること**だと、高口は考えます。

今元気な人でも、病気や障害を抱える可能性があります。どんな状況にあっても働きやすい社会は、私たち全員にとっての課題です。それだけでなく、会社全体で障害者が働きやすい環境をめざした結果、「衛生面や事故などが改善され、全体の環境がよくなつた」という実例も、複数あるのです。

練馬区の外郭団体、社会福祉協議会には、レインボーワークという障害者雇用の専門部門があります。障害者本人の支援にとどまらず、企業と協力した合理的配慮の推進に取り組むよう、求めました(決算特別委員会「外郭団体」の質疑にて)。

## 在宅医療講座～最後まで、自分らしく！

### “いざという時”が来る前に、話し合いを

祐ホームクリニックの林院長を迎えて、「在宅医療講座」を開催。「いざという時が来る前に、家族と話し合っておくことが重要」といった、「終末期医療ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」について、学びました。また、高口からは、夫を見取った体験談などをお話をしました。

他にも、「障がいを考える会」「保活座談会」「子育て相談会」「こども憲法カフェ」「PTAカフェ」など、様々な企画を開催！



4位で当選…！ ひとえに  
皆様の応援のおかげです。  
心から感謝を申し上げます。  
選挙を通じ、たくさんのお出会い、  
経験をさせていただきました。  
「高口ようこの当選」という  
共通の目的を通して、  
自分たちの思いが届くよう  
一人ひとりが力をあわせる。  
まさに、民主主義のひとつ  
カタチが、選挙なんだなあと…。  
これからも、練馬区の主役は  
皆さん一人ひとりです。  
高口がしっかりと働いているか、  
どうぞチェックしてください。  
そして一緒に、地域を  
つくっていきましょう！



## 練馬の図書館が、大ピンチ…！

### 図書館専門員が、図書館からいなくなる！?

1962年にスタートした、練馬区の図書館。そのうち、30年以上の経験とスキルで、区立図書館を支えているのが、**図書館専門員**です。現在、光が丘・練馬・石神井の3館が区の直営、残りの9館は指定管理館(民間委託)。本を選ぶ「選書」など、重要な業務は、直営の専門員が中心に(練馬区の専門員のレベルの高さは、実は有名！)。ところが今……練馬・石神井まで指定管理館に変え、専門員全員を、図書館から追い出す方針を区が提案。専門員たちは猛反対！ そもそも、長期・継続的な運営が不可欠な図書館に、5年ごとに更新される指定管理自体が合いません。図書館の質=私たちの知る権利を守るためにも、専門員を図書館に残すべきです！

### information

#### 高口ようこ事務所 月水金 9:30 ~ 15:00 OPEN

開所日以外でも、いつでも  
ご相談やご意見を伺います。  
お気軽にご連絡ください。

#### ようこそカフェ

毎月第4曜 13~15時  
お困りごとや、地域の課題について、おしゃべりする場です。  
福祉、医療、子育てなど、テーマは毎回、様々。お茶菓子をご用意し、お待ちしています♪  
【場所】高口ようこ事務所  
【茶菓子代】100円(子ども無料)  
【お申込】直接お越しください



こうぐち  
**高口ようこ かわら版**  
vol.6 @練馬

発行：市民の声ねりま 高口ようこ

こうぐち  
**高口ようこ事務所 (市民の声ねりま)**  
〒176-0002 練馬区桜台 2-40-6-103  
TEL & FAX 03-6915-8535  
Email info@koguchiyoko.net  
Web koguchiyoko.net

池尻成二 ikejiriseiji.jp 岩瀬たけし iwasetakeshi.net

あなたと共に  
社会を変えたい！

区政情報日々発信

